

平成29年度 学校自己評価表

(計画段階・実施段階)

福岡県立門司学園高等学校長 印

学校運営計画(4月)		評価(3月)	
学校運営方針	併設型中高一貫教育校として、中高それぞれの教員が相互に連携し、その特性を最大限に生かす6年間を見通した教育課程を確立し、100年後に繋がる確固たる礎を築く。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>中高合同教科研修会等とおして、積極的に中高連携を推進し、6年間を見据えた教育活動展開のための環境づくりに努めている。また、「鍛ほめ福岡メソッド」を実践しながら、ICT機器等を効果的に活用したアクティブ・ラーニングに積極的に取り組み主体的に考え、行動できる生徒の育成を目指している。</p> <p>今年度は、上記取組の継続に加え、部活動を含む教育内容を充実させ、進路実現を可能にする確かな学力を身につけさせる。また、広報活動の強化を図り、積極的に情報を発信しながら、本校の更なる魅力化の推進を図る。</p>	規律ある授業環境の提供	整然と落ち着いた授業環境の維持により授業効果向上を図る。	
	学力向上策実践と授業改善	進路実現を支える確かな学力を身につけさせ、主体的・対話的で深い学びを実現するため、指導方法・授業評価方法の研究に努め、魅力ある授業を展開する。	
	心を耕す教育の充実	「鍛ほめ福岡メソッド」を実践して、自他を認め合い、相手の気持ちを思い遣ることができる人権感覚と自尊心・自己肯定感・人命尊重の精神を育む。	
	心と体の健康教育の推進	課題を抱える生徒の早期発見・早期対応による支援体制を確立し、授業や部活動とおして心身ともに健康な生徒を育成する。	
	教育活動の一層の魅力化と広報活動の充実及び地域との連携	授業だけでなく学校行事などの内容を更に充実させ、学校の「魅力化」とそのアピールに努めるとともに、地域や同窓会とも連携して教育活動の一層の活性化を図る。	
	「思考力・判断力・表現力」の向上	知識・技能と思考力・判断力・表現力を身につけるとともに、英語力を向上させ、未知の状況にも対応できる課題解決力を育成する。	
	施設・設備等の教育環境整備	中高教職員が連携を深め、互いの深い信頼関係と温かい人間関係の中で、組織力を高め、意欲的・積極的・協力的に、建設的な意見交換・提案を行う。 生徒が安全・安心な環境の中で、快適に充実した学校生活を送り、学習活動を行うことができるよう、施設・設備等の点検・維持・充実に努める。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)
第1学年	集団行動においてマナー・モラルを身につけ、けじめある行動をさせる	社会で他の人と協調して生活していくための最低限のルールを学ばせる。	
		集会などでは5分前行動、授業では2分前着席を徹底させる。	
	自己の進路についての将来の展望を持たせる	コミュニケーションの基本となる挨拶を徹底させる。	
		個人面談を行うことで、自己の進路を確立させる。	
第2学年	責任と自覚を持たせる	定期的な課題を与え、効果的な学習を行うことで進路実現に必要な学力を養わせる。	
		自分の進路目標に対して適確な情報を収集できる能力を身につけさせる。	
	自己管理・自主性の推進	先輩としての自覚を持ち、学校生活において先輩の模範となれるよう指導する。	
		生徒会活動、部活動、学校行事では、学校の核となれるよう指導する。	
第3学年	基本的習慣・自己管理能力をもとに進路実現に向け全力で取り組む体制	進路実現に向け、しっかりと授業、定期考査に取り組ませる。	
		手帳に予定やメモをとる習慣をつけ、自己管理能力や情報収集能力を養う。	
	門司学園の生徒として帰属意識をもち、最高学年として模範になる	清掃活動など今自分ができることを考え、行動できるような意識付けを行う。	
		積極的に自らの進路を考え、様々なことに取り組むように指導する。	
	手帳に予定やメモをとる習慣をつけ、自己管理能力を養う指導を行う。		
	授業をしっかりと受け、課題を主体的に取り組むことが受験の基本であることを意識づける。		
	生徒との個人面談を実施して、生徒の学習状況・進路希望の把握をおこなう。		
	学校行事に積極的に参加し、協力する態度を育てる。		
	体育大会では最高学年としてリーダーシップを発揮するよう指導していく。		
	目標「有言実行」を書くことにより自分自身の重点目標を確認し、生徒同士が刺激を受け向上心を持たせる。		

平成29年度 学校自己評価表

(計画段階・実施段階)

福岡県立門司学園高等学校長 印

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教務課	授業規律の徹底と出席率の向上(学習環境の整備) 確かな学力の定着 アクティブ・ラーニング型授業の積極的導入の推進 ICTを活用した授業の推進	授業開始と終了時の号令等を徹底する。出席率98%・出席皆勤者60%以上を目標とする。 家庭学習時間の確保、課題提出の徹底を図ることで学力向上を目指す。 アクティブ・ラーニング型授業の研修の充実を図り、最低1回以上の実践を目指す(研究授業等)。 ICT機器の積極的な使用を推進する。		
	観点別評価の充実 授業確保と時間割変更等の手順・確認の明確化	年間指導計画に評価規準を反映させ、評価規準に基づいた授業、評価を推進する。 行事の精選と実施時期の検討による授業確保を図る。時間割変更の確実な伝達を図る。		
企画課	第2学区の中学校・塾・地域に対する広報活動の推進	ホームページの内容を充実させ、更新を随時行い、情報を提供する。 2度の体験入学で参加者100名以上を目標とし、志願者増加につなげる。 中学校や塾での説明会をより多く開催できるように、訪問回数を増やす。		
	PTA活動の充実・併設中学校との連携	PTA活動のさらなる充実のため、役員・委員との連携を深める。 国際交流美術展など本校の教育活動を広く地域に紹介する。 一斉メール送信により、学校と保護者との連絡を密にする。		
生徒指導課	高校生としての基本的生活習慣の確立および規範意識の醸成 生徒会を中心とした学校行事・校内活動の活性化	指導の一貫性を保ち、あらゆる機会を通して教職員と生徒間の信頼関係を深める。 教職員が挨拶を率先垂範し、生徒と共に校内活動の活性化を図っていく。 各委員会に具体的な活動計画を立てさせて、年間を通じて生徒会活動を充実させていく。		
	部活動の活性化および規定に基づくメリハリのある学習活動との両立 登下校時の安全確保および交通安全のマナーと意識の向上	部活動の充実を図ると共に、中高一貫した活動の在り方を具現化していく。 門司学園生としての誇りと愛校心を養成し、部活動と勉学の両立に努めさせる。 定期的なバスの利用状況の確認・改善および交通機関のマナー遵守を指導していく。		
保健課	環境整備及び美化活動 生徒職員の健康管理	15分清掃の徹底、美化週間などを設定し、環境整備を図る。 健康診断や行事前の健康相談を実施し、事前事後の健康管理の徹底を図る。 生徒・職員の健康維持のため、環境改善策の調整を図る。		
	事故・災害の防止対策 教育相談活動の推進	衛生委員会と保健委員会が連携し、施設・設備などの安全点検を実施する。 避難訓練や救命救急講習会を充実させ、防災教育の徹底を図る。 教育相談委員会の定期的な実施やスクールカウンセラーとの連携を図る。		
進路指導課	系統的な進路指導の実践 新テストの研究・対策	併設中学校の進路指導課と連携しながら、6ヵ年の進路指導計画を策定し、実践する。 門司学ライブ(出前講義)を中学1年生から高校2年生を対象に行う。進路ノートの作成を検討する。 門司学プランの修正を検討する。特に、英語力、表現力を高めるプログラムを検討する。		
	難関大学合格者の育成	成績上位者への積極的な指導を推進する。 生徒が休日学校で勉強したり、進路指導室をより一層活用しやすくしたり、環境を整備する。 受験制度の理解等を深めることによって、生徒の受験への関心度を高め、効果的な勉強法を身につけさせる。		
研修課	職員研修の充実	教科別にアクティブ・ラーニングやICTを取り入れた研究授業を実施する。 授業の充実・改善のために、生徒による授業アンケートを実施する。 中高の連携を密にするため、中高合同の研修会を実施する。 新しい大学入試制度への対応に関する研修会を実施する。		
	読書活動の活性化	学年毎に幅広く題材を選択して、進路実現のための「朝の読書」を継続する。 中学生・高校生の両方が積極的に図書館を利用できるように環境を整える。		